

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041001	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (L(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zhaohu517▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041002	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (L(中3)_P1・P2) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	張 美玉 / Tiyou Migiyoku		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	張 美玉 / Tiyou Migiyoku		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	張 美玉 / Tiyou Migiyoku		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(中3)_P1・P2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tyoubigyoku▲yahoo.co.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標 / Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041003	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (G(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	G(中1)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	xiaolan▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	環境科学部1階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日4校時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかり鍛えていく。		
授業到達目標 / Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記 (中国語ローマ字表記) をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験 (70%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加 (10%) などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041004	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (G(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	musicoolcn0210▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかり鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041005	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (F(中2)_D1・D2) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	F(中2)_D1・D2		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	zhaohu517▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標 / Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041006	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中4)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	陳 振華 / Tin Shinka		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzhzh▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日14:30~16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041007	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中5)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	musicoolcn0210▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかり鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041008	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	郭 楊 / Kaku You		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	郭 楊 / Kaku You		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	郭 楊 / Kaku You		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	guo▲tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかり鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041009	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zhaohu517▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041010	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中3)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高 季文 / Kou Kibun		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高 季文 / Kou Kibun		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高 季文 / Kou Kibun		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jgykp388▲ybb.ne.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041011	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中4)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	musicoolcn0210▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041012	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (F(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	陳 振華 / Tin Shinka		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	F(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzhzh▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日14:30~16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041013	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (L(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	郭 楊 / Kaku You		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	郭 楊 / Kaku You		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	郭 楊 / Kaku You		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	guo▲tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかり鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041014	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中5)_K(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高 季文 / Kou Kibun		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高 季文 / Kou Kibun		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高 季文 / Kou Kibun		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中5)_K(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jgygp388▲ybb.ne.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041015	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zhaohu517▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかり鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/24		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041016	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中3)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	陳 振華 / Tin Shinka		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzhzh▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日14:30~16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041017	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 迪 / Di Wang		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中1)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	wd2000jp▲yahoo.co.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標 / Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041018	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (K(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	K(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041019	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (M1 ~ M3) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1?M3		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標 / Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590041020	科目番号 / Course code	05900410
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11119_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (M4 ~ M6) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	周 国強 / Syu Kokkyo		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4?M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zgg▲sun.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかり鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 発音(1) 四声 / 母音(1) / 子音(1) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(1)
第2回	第2課 発音(2) 轻声 / 母音(2) / 子音(2) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(2)
第3回	第3課 発音(3) 「不」の変調 / 母音(2) / 子音(3) / 子音と母音の組み合わせ / 簡単な挨拶(3)
第4回	第4課 発音(4) 第3声の連続変調 / 「一」の変調 / 母音(4) / 子音(4) / アル化の音 / 隔音符号 / 子音と母音の組み合わせ
第5回	発音の復習
第6回	第5課 『?叫什麼名字?』 文法: 判断動詞「是」 / 人称代名詞 / 疑問文 / 名前の聞き方
第7回	第6課 『?家有几口人?』 文法: 家族の呼称 / 所有を表す「有」 / 年齢の尋ね方・答え方 / 疑問詞「几」 / 量詞「口」
第8回	第5課から第6課までの復習
第9回	第7課 『這是甚什麼?』 文法: 指示代名詞[1] “這、那、這個、那個、這些、那些” / 「的」
第10回	第8課 『今年二〇一几年?』 文法: 年・月・日・曜日 / 名詞を述語とする文 / 数詞
第11回	第7課から第8課までの復習
第12回	第9課 『?喝???』 文法: 動詞を述語とする文 / 程度副詞「也」「都」 / 「怎麼樣?」
第13回	第10課 『這件毛衣怎麼樣?』 文法: 形容詞を述語とする文 / 程度副詞 / 中国のお金
第14回	第9課から第10課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043001	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (L(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zhaohu517▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043002	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (L(中3)_P1・P2) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	張 美玉 / Tiyou Migiyoku		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	張 美玉 / Tiyou Migiyoku		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	張 美玉 / Tiyou Migiyoku		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(中3)_P1・P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tyoubigyoku▲yahoo.co.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043003	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (G(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaolan▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043004	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (G(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	musicoolcn0210▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかり鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043005	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (F(中2)_D1・D2) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	F(中2)_D1・D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zhaohu517▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043006	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中4)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	陳 振華 / Tin Shinka		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzhzh▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日14:30~16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく 教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043007	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中5)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	musicoolcn0210▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043008	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	郭 楊 / Kaku You		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	郭 楊 / Kaku You		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	郭 楊 / Kaku You		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	E(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	guo▲tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記 (中国語ローマ字表記) をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043009	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zhaohu517▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 這里、這儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043010	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中3)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高 季文 / Kou Kibun		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高 季文 / Kou Kibun		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高 季文 / Kou Kibun		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jgygp388▲ybb.ne.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく 教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043011	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中4)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	musicoolcn0210▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく 教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043012	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (F(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	陳 振華 / Tin Shinka		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	F(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzhzh▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日14:30~16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043013	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (L(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	郭 楊 / Kaku You		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	郭 楊 / Kaku You		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	郭 楊 / Kaku You		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(中1)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	guo▲tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標 / Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく 教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043014	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (E(中5)_K(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高 季文 / Kou Kibun		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高 季文 / Kou Kibun		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高 季文 / Kou Kibun		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E(中5)_K(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	jgygp388▲ybb.ne.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聴?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043015	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中2)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	zhaohu517▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標 / Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/22		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043016	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中3)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	陳 振華 / Tin Shinka		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(中3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzhzh▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日14:30~16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043017	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (T(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 迪 / Di Wang		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	T(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wd2000jp▲yahoo.co.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記 (中国語ローマ字表記) をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』（同学社） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 這里、這儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043018	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (K(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	K(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043019	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (M1 ~ M3) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1?M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590043020	科目番号 / Course code	05900430
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11219_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (M4 ~ M6) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	周 国強 / Syu Kokkyo		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M4?M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zgg▲sun.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	発音や文法事項など中国語の基礎を学ぶ。「きれいで、使える」中国語の習得をめざす。中国語の基本は発音、大きな声で積極的に練習すること。発音練習・会話練習・短文の暗唱などを通して、基礎をしっかりと鍛えていく。		
授業到達目標/Course goals	1. 中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにする。 2. 中国語の音声表記(中国語ローマ字表記)をマスターする。 3. 基本構文を学習し、日常的な会話表現を身につける。 4. 日本中国語検定試験準4級を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	統一試験(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安『ポイントマスター・初級中国語』(同学社) 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると統一試験と期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第11課 『市立圖書館在?儿?』 文法：存在を表す動詞「有」と「在」 / 方向や位置を表す語/指示代名詞[2] “ 这里、这儿;那里、那儿;?里、?儿 ” / 量詞
第2回	第12課 『?会開汽車??』 文法：助動詞「会」「能」「可以」 / 連動文
第3回	第13課 『?打算去?儿?』 文法：助動詞「想」・「喜歡」・「打算」
第4回	第11課から第13課までの復習
第5回	第14課 『?看過《三国演义》??』 文法：アスペクト助詞「了」「着」「過」
第6回	第15課 『明天几点出發?』 文法：時刻の言い方 / 時点と時間量 / 選択疑問文 / 介詞「在」
第7回	第16課 『?家離学校遠??』 文法：介詞「从」「到」「離」 / 「多?」
第8回	第14課から第16課までの復習
第9回	第17課 『今天特別熱?』 文法：比較の表現 / 「有点儿」と「一点儿」
第10回	第18課 『?子上有一本漢語課本』 文法：二重目的語 / 存現文 / 疑問詞
第11回	第17課から第18課までの復習
第12回	第19課 『?的房間真乾淨?』 文法：“把”構文 / 受身の表現 / 変化を表す「了」
第13回	第20課 『老師讓他去圖書館了』 文法：使役の表現 / “再”と“又” / 聽?
第14回	第19課から第20課までのまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045001	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2M1 ~ 2M3) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高 芳 / Kou Hou		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M1?2M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gaofang▲sun.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既... , 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞 “在” と存在動詞 “有” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時... , 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為... , 所以...」 / 「(雖然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045002	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2T(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zhaohu517▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末テスト (70%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考（URL）/Remarks（URL）			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既... , 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞 “在” と存在動詞 “有” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時... , 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為... , 所以...」 / 「(雖然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045003	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2T(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	張 美玉 / Tiyou Migiyoku		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	張 美玉 / Tiyou Migiyoku		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	張 美玉 / Tiyou Migiyoku		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tyoubigyoku▲yahoo.co.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既... , 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞 “在” と存在動詞 “有” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時... , 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為... , 所以...」 / 「(雖然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045004	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	●中国語 (2K(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高 芳 / Kou Hou		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2K(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gaofang▲sun.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■主体性 / Autonomy □汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既..., 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞“在”と存在動詞“有” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時..., 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為..., 所以...」 / 「(雖然)..., 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045005	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2T(中4)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	祁 建民 / Ki Kenmin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T(中4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	qjmjp▲sun.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末テスト (70%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考（URL）/Remarks（URL）			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既... , 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞 “在” と存在動詞 “有” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時... , 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為... , 所以...」 / 「(雖然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045006	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	●中国語 (2T(中5)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 迪 / Di Wang		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(中5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wd2000jp▲yahoo.co.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく 教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “ 都不...” と “ 不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既... , 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞 “ 在 ” と存在動詞 “ 有 ” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞 + 了」 / 「有時... , 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為... , 所以...」 / 「(雖然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045007	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	●中国語 (2D1・2D2_2K(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2D1・2D2_2K(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	musicoolcn0210▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既... , 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞 “在” と存在動詞 “有” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時... , 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為... , 所以...」 / 「(雖然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045008	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2T(中3)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	祁 建民 / Ki Kenmin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T(中3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	qjmjp▲sun.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 主体性 / Autonomy □ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末テスト (70%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考（URL）/Remarks（URL）			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既... , 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞 “在” と存在動詞 “有” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時... , 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為... , 所以...」 / 「(雖然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045009	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2E(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	陳 振華 / Tin Shinka		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzhzh▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日14:30~16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既..., 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞 “在” と存在動詞 “有” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但..., 而且...」 / 「一...就...」 / 「先..., 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時..., 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為..., 所以...」 / 「(雖然)..., 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045010	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2E(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	陳 振華 / Tin Shinka		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzhzh▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日14:30~16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既... , 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞 “在” と存在動詞 “有” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時... , 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為... , 所以...」 / 「(雖然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045011	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	●中国語 (2E(中3)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 迪 / Di Wang		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(中3)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	wd2000jp▲yahoo.co.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標 / Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既... , 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞 “在” と存在動詞 “有” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時... , 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為... , 所以...」 / 「(雖然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/25		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045012	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2F(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 主体性 / Autonomy □ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既... , 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞 “在” と存在動詞 “有” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時... , 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為... , 所以...」 / 「(雖然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045013	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2G1 ~ 2G3) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	楊 曉安 / Yang Xiaoan		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	楊 曉安 / Yang Xiaoan		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	楊 曉安 / Yang Xiaoan		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2G1?2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaolan▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 主体性 / Autonomy □ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末テスト (70%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既... , 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞 “在” と存在動詞 “有” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時... , 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為... , 所以...」 / 「(雖然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045014	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2P1・2P2) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2P1・2P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既... , 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞 “在” と存在動詞 “有” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時... , 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為... , 所以...」 / 「(雖然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045015	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2L1~2L3_2F(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L1?2L3_2F(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既... , 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞 “在” と存在動詞 “有” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時... , 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為... , 所以...」 / 「(雖然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/26		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590045016	科目番号 / Course code	05900450
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11319_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2E(中4)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	周 国強 / Syu Kokkyo		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(中4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zgg▲sun.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	zgg@sun.ac.jp		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語Iと中国語IIの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、まずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1課 『談家庭』 家族について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「?と?」 / 「二と兩」
第2回	第1課 『談家庭』 家族について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 比較の表現 / “都不...” と “不都...” 閲読: 「中国的家庭結構(中国の家庭構造)」
第3回	第2課 『談方位』 場所について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「听(据)?... / 听(据) ...?...」 / 「剛...」 / 「既... , 又(也)...
第4回	第2課 『談方位』 場所について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「不是...??」 / 「除了...」 / 所在動詞 “在” と存在動詞 “有” / 方向や位置を表す語 閲読: 「我們學校(私たちの学校)」
第5回	第3課 『談時間』 時間について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「不但... , 而且...」 / 「一...就...」 / 「先... , 然后...」 / 離合詞
第6回	第3課 『談時間』 時間について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 結果補語 / 「从...到...」 / 「名詞+了」 / 「有時... , 有時...」 閲読: 「我的一天(私の一日)」
第7回	第1課から第3課までの復習
第8回	第4課 『談愛好』 趣味について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 動量補語 / 時量補語
第9回	第4課 『談愛好』 趣味について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 様態補語 / アスペクト助詞「了・着・過」 閲読: 「愛好(趣味)」
第10回	第5課 『談天气』 気候について (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「因為... , 所以...」 / 「(雖然)... , 但是(可是)...
第11回	第5課 『談天气』 気候について (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「只有...才...」 / 動詞の重ね / 四種類の疑問文 閲読: 「中国城市气候特点(中国都市の気候の特徴)」
第12回	第6課 『談体育』 スポーツについて (1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「正在...」 / 「還...」 / 方向補語
第13回	第6課 『談体育』 スポーツについて (2) 基本表現 / 会話?A 文法: 可能補語 / 「?と隔」 / 「想・喜歡・打算」 閲読: 「??球(卓球)」
第14回	第4課から第6課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047001	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2M1 ~ 2M3) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高 芳 / Kou Hou		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2M1?2M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gaofang▲sun.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■主体性 / Autonomy □汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047002	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2T(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	趙 紅林 / Tiyou Kourin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zhaohu517▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	zhaohu517@gmail.com		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 主体性 / Autonomy □ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047003	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2T(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	張 美玉 / Tiyou Migiyoku		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	張 美玉 / Tiyou Migiyoku		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	張 美玉 / Tiyou Migiyoku		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tyoubigyoku▲yahoo.co.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	tyoubigyoku@yahoo.co.jp		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 主体性 / Autonomy □ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/02/03		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047004	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2K(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高 芳 / Kou Hou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高 芳 / Kou Hou		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2K(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	gaofang▲sun.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■主体性 / Autonomy □汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047005	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2T(中4)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	祁 建民 / Ki Kenmin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2T(中4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	qjmjp▲sun.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 主体性 / Autonomy □ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末テスト (70%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考（URL）/Remarks（URL）			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047006	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2T(中5)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 迪 / Di Wang		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(中5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wd2000jp▲yahoo.co.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 主体性 / Autonomy □ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 /Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) /Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ /Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047007	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2D1・2D2_2K(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	賀 玉辰 / Ga Gyokushin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2D1・2D2_2K(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	musicoolcn0210▲gmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/28		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047008	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2T(中3)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	祁 建民 / Ki Kenmin		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	祁 建民 / Ki Kenmin		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2T(中3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	qjmjp▲sun.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☒ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047009	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2F(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	陳 振華 / Tin Shinka		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2F(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzhzh▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日14:30~16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 主体性 / Autonomy □ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047010	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2E(中1)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	陳 振華 / Tin Shinka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	陳 振華 / Tin Shinka		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(中1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	chzhzh▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日14:30~16:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 主体性 / Autonomy □ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047011	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	●中国語 (2E(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	王 迪 / Di Wang		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	王 迪 / Di Wang		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	wd2000jp▲yahoo.co.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 主体性 / Autonomy ☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☐ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives ☐ C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/23		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047012	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2E(中3)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(中3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 主体性 / Autonomy □ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047013	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2G1 ~ 2G3) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2G1?2G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaolan▲nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 主体性 / Autonomy □ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	期末テスト (70%)、小テスト・課題 (20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考（URL）/Remarks（URL）			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047014	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2P1・2P2) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2P1・2P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■主体性 / Autonomy □汎用的能力 / Generic Competence □倫理観 / Ethics □多様性の理解 / Understanding Diversity □協働性 / Cooperativeness □考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047015	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2L1 ~ 2L3_2F(中2)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	周 国強 / Syu Kokkyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	周 国強 / Syu Kokkyo		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2L1?2L3_2F(中2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	zgg▲sun.ac.jp (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 主体性 / Autonomy □ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2020/01/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20190590047016	科目番号 / Course code	05900470
科目ナンバリングコード / Numbering code	GECH 11419_032		
授業科目名 / Course title	● 中国語 (2E(中4)) / Chinese		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	劉 愛莉 / Ryu Airi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	劉 愛莉 / Ryu Airi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2E(中4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kym_ar▲hotmail.com (メールを送信する際は▲を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本講では中国語?Tと中国語?Uの1年間の学習内容を整理しながら基礎学力の向上をはかる。総合中国語テキストを用いて、現代中国語でもっともよく出現する文法形式、表現形式の用法、会話のパターンなど、「聞く、話す、読む、書く」の総合的な能力の養成に重点を置き、将来もっと深く中国語科目を履修するためのより高度な中国語の習得をめざす。		
授業到達目標/Course goals	1. 簡単な日常会話を話せるようにする。 2. 基本的な中国語を読めるようにする。 3. 基本的な中国語を書けるようにする。 4. 現代中国の文化や社会の一端を理解する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	■ 主体性 / Autonomy □ 汎用的能力 / Generic Competence □ 倫理観 / Ethics □ 多様性の理解 / Understanding Diversity □ 協働性 / Cooperativeness □ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas □ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	■ A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over □ B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives □ C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills □ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems □ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above □ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	期末テスト(70%)、小テスト・課題(20%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords			
教科書・教材・参考書 / Materials	テキスト：楊曉安『現代中国アラカルト』（郁文堂） 辞書：日中辞書・中日辞書		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	現在、日本では、英語に付け加えて中国語を勉強することも将来大変有益となっています。外国語を学ぶにあたり、先ずは発音が大切となります。 日本人にとって中国語の発音は難しいため、焦らず根気よく中国語の発音を繰り返しながら習得しましょう。 次に基本的な構文を身に着け、易しい語彙を少しでも増やしましょう。「多く聴き・覚え・話し・読む」ことが、効率のよい勉強法となります。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第7課 『談旅游』 旅行について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...?」 / 「給...」 / 「或者」
第2回	第7課 『談旅游』 旅行について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「跟(和、同)...一樣」 / 「不僅如此」 / 「沒想到...」 閲読: 「中国十大名勝古迹(中国の十大名所旧跡)」
第3回	第8課 『談飲食』 飲食について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「越來越...」 / 「大概...?」 / 「都+疑問代名詞」 / 「几と多少」
第4回	第8課 『談飲食』 飲食について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「五、六」 / 「不是... , 而是...」 / 「怪不得」 閲読: 「中国的菜系(中国の料理)」
第5回	第9課 『談交通』 交通について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「...的話」 / 「好+動詞」 / 「就と才」
第6回	第9課 『談交通』 交通について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「既然... , 就...」 / 「他們那儿」 / 使役の表現 閲読: 「中国的交通(中国の交通)」
第7回	第7課から第9課までの復習
第8回	第10課 『談看病』 診察について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「只要... , 就...」 / 「除非... , 否則...」 / 「一来... , 二来...」
第9回	第10課 『談看病』 診察について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「即使... , 也...」 / 「比如」 / 連動文 閲読: 「中国医院的分級(中国の病院の等級付け)」
第10回	第11課 『談購物』 買い物について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「給と為」 / 「連...也...」
第11回	第11課 『談購物』 買い物について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「再...也(都)...」 / 「不過...罷了」 / 結構助詞「的・地・得」 閲読: 「網購(ネットショッピング)」
第12回	第12課 『談節日』 祝日について(1) 基本表現 / 会話?@ 文法: 「難怪...」 / 「...是...」
第13回	第12課 『談節日』 祝日について(2) 基本表現 / 会話?A 文法: 「-起来」 / 「-下去」 / 程度副詞 閲読: 「中国的節日与休假(中国の祝日と休暇)」
第14回	第10課から第12課までの復習
第15回	総合復習
第16回	期末試験